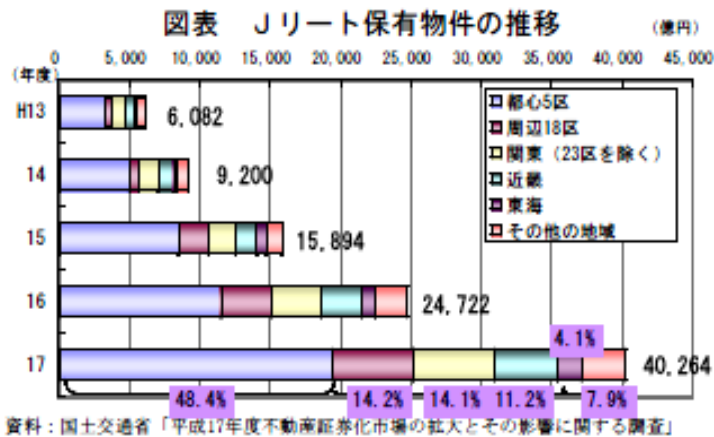


アンカーニュース

2005 年度不動産証券化 3 割増の 6.9 兆円に拡大

不動産投資信託（REIT）や不動産私募ファンドなどを通じて2005年度に証券化した不動産の資産額が前年度比3割増の6兆9117億円に達し、過去最高を更新したことが、国土交通省の調査で分かりました。低金利などを背景に、収益性の高いオフィスビルやマンションなどへの不動産投資が活発化したことが改めて裏付けられたこととなります。

不動産証券化の内訳を見ると、REIT が 1 兆 7400 億円、REIT 以外の不動産私募ファンドなどが 3 兆 8900 億円。2005 年度に証券化された不動産の用途は、資産額ベースでオフィスが 35%、住宅 20%、商業施設が 12%です。昨年度とほぼ同じですが、調査の始まった 1997 年度と比べると、オフィス以外が増えています。



また、Jリートによる不動産の取得が拡大しており、平成 17 年度末の保有物件の総額は約 4 兆円となっています。投資対象が住宅や物流施設など多様化するとともに、投資地域についても多様化し、地方圏でも投資が活発化しているようです。



発行者

合同事務所 アンカー

(司法書士・土地家屋調査士・行政書士)

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目 21 番 4 号

新日本ビルディング赤坂 4 階

TEL 03-5575-3457 FAX 03-5575-9385

担当：植頭